

目標1 公共交通の利用環境の向上	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(R1)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	デマンド交通登録者数	3,757人	4,000人		市保有データ	
	数値目標②	デマンド交通利用者数	22,703人/年	30,000人/年		石橋タクシー報告データ	
	数値目標③	レンタサイクル利用者数	1,614人/年	1,930人/年		市観光協会保有データ	
施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組	
施策①	デマンド交通の利用しやすさの向上	R3年度中	令和4年度				
施策②	既存の交通結節点の利便性向上と併せた自転車利用促進、観光目的来訪者対応	令和3年～令和4年度	令和5年度				

目標2 公共交通利用促進に資する わかりやすい情報提供	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(R1)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	公共交通マップ配布箇所数	新規事業	10箇所		市配布実績	
	施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組
	施策①	公共交通に関するわかりやすい情報提供ツールの導入と、情報提供機会の創出	R3年度中	令和4年度			

目標3 居住エリアと拠点施設等を 結ぶネットワークの形成	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(H27)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	居住誘導区域および郊外型居住区域の人口密度	46.1人/ha	46.4人/ha		市保有データ等	
	施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組
	施策①	地域間および地域内の交通網整備	令和3年～令和4年中旬	令和4年中旬			

目標4 公共交通の利用率向上	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(R1)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	モビリティ・マネジメントの実施回数	新規事業	1回/年以上		実施実績等	
	施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組
	施策①	公共交通の利用に対する意識醸成	令和3年～令和4年度	令和5年度			
施策②	公共交通の利用促進	令和3年～令和4年度	令和5年度				

目標5 既存公共交通網の維持・改善	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(R1)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	1便あたりバス利用者数	宇都宮駅-石橋駅線 11.9人/便 石橋駅-真岡車庫線 7.3人/便 自治医大線 2.7人/便	宇都宮駅-石橋駅線 13.0人/便 石橋駅-真岡車庫線 8.3人/便 自治医大線 5.8人/便		関東自動車保有データ	
	数値目標②	デマンド交通収支率	11.7%	13.4%		委託事業者報告データ	
	施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組
施策①	地域の需要に応じた公共交通サービスの提供	令和3年～令和4年中旬	令和4年中旬				

目標6 広域移動ネットワークの形成	数値目標からの評価		計画策定時の現況値(R1)	目標値(R7)	実績(令和4年3月時点)	調査方法	評価・次年度に向けた課題や取組
	数値目標①	広域連携バスの利用者数	石橋・獨協医大線 2,733人/月 ゆうきが丘団地線 232人/月	石橋・獨協医大線 2,800人/月 ゆうきが丘団地線 240人/月		関東自動車報告データ	
	数値目標②	交流人口	223万人	280万人		県観光交流課保有データ	
	施策の実施状況からの評価		検討期間	実施時期	目標達成への取組み・達成状況		評価・次年度に向けた課題や取組
施策①	地域の需要に応じた公共交通サービスの提供	令和3年～令和4年度	令和5年度				

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

〇〇市(区町村)地域公共交通計画の評価等結果(〇年〇月~〇年〇月)

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
<p>××系統の利用者数：2000千人/年(令和元年度)→2100千人/年(令和6年度)</p>	<p>××系統の再編・他系統と乗り継ぎしやすいダイヤの設定</p>	<p>バス事業者の有する乗降データを用いて計測</p>	<p>・2030千人(令和3年3月時点) ・周辺に大規模商業施設がオープンしたことによる来訪者数増加が寄与したものの、地域住民の利用に大きな変化はなし。</p>	<p>・大規模商業施設の立地を見越した路線再編による効果は当初の予定通り達成できており、このまま推移すれば、令和6年度においても達成の見込み。 ・引き続き、再編後の路線・ダイヤによる運行を継続。 ・次年度に向け、引き続き課題となっている地域住民の利用を増やすため、地元の学生向けのバスPR活動や、高齢者割引を実施予定。</p>	<p>見直しの結果、地域公共交通計画の変更の必要はなし。</p>
<p>△△コミュニティバスに対する市の負担額：3800万円以内(令和元年度：3700万円)を令和6年度まで維持</p>	<p>××系統における、他系統との重複区間の減便・郊外一部区域までの路線延伸を通じた、地域の利用実態に即した運行への見直し</p>	<p>令和3年度普通会計決算より</p>	<p>・3650万円(令和3年度) ・系統全体の利用者数は減少したものの、運行効率化による費用減が影響し、収支に大幅なブレはなし。</p>	<p>・今年度の目標は達成。地域住民の声も踏まえ、引き続き運行を維持。 ・次年度に実施する沿線住民や来訪者への利用者アンケートも踏まえ、更なる運行効率化を検討。</p>	<p>今後、バスを廃止した場合の市の医療・福祉政策分野における追加的代替費用についても算出予定(クロスセクター効果の検証)。</p>
<p>計画において設定した目標を記載。</p>	<p>計画において定めた事業内容を記載。</p>	<p>目標の達成状況を把握するために用いた手法を記載。</p>	<p>調査時点における目標の達成状況及びその背景事情や原因について記載。</p>	<p>目標達成の有無や達成状況に対する所感及び今年度の状況を踏まえた次年度に向けての課題や次年度に取り組む事業内容について記載。</p>	<p>計画変更の必要性の有無や次年度以降に実施予定の取組等、他に必要な事項を記載。</p>

(記載に当たっての留意事項)

- ・本様式中、表題の「(〇年〇月~〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果(議事録等)等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。